

平成 23 年度「博士課程教育リーディングプログラム」
計画調書等（案）

機 関 名	申 請 類 型	
申請者(学長)	所在地(都道府県)	
プログラム名称 (学位記等記載を想定し記入)		
英語名		
副題(任意)		
研究科・専攻等名 (主たる専攻を下線)		
連合大学院又は共同教育課程を 構想している場合の共同実施機関名		
他の大学等と連携した取組の 場合の機関名		
プログラム担当者	(プログラム責任者) 氏名 所属研究科・専攻・職名(現在の専門)	
	(プログラムコーディネーター) 氏名 所属研究科・専攻・職名(現在の専門)	
	他 名	
[プログラムの概要]		
[プログラムの特色・優位性]		

(機関名 :

申請類型 :

プログラム名称 :

)

学位プログラムの概念図

(コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

平成 23 年度

博士課程教育リーディングプログラム 計画調書

I. 大学の改革構想と本プログラムの目的について

1. 大学の教育研究目的・目標

学則等に定める大学の教育研究上の目的・目標を具体的に記入してください。

2. 本プログラムにより「養成すべき人材像」

学則等に定めることを想定し、本プログラムの人材養成目的を具体的に記入してください。

3. 本プログラムを通じて取り組む「解決すべき課題」

本プログラムの修了者が人類社会の課題解決を牽引するリーダーとなるために、本プログラムで取り組む「解決すべき課題」のテーマを具体的に記入してください。

4. 大学の教育研究の改革・強化と本プログラムの目指すもの

大学がこれまで進めてきた大学院教育改革、研究強化等の取組、本プログラム申請に至る経緯、大学としての今後の改革構想における本プログラムの位置付けが明らかとなるよう、具体的に記入してください。なお、同一年度に複数プログラムを申請する場合又は過年度に採択プログラムがある場合には、これらとの関連性についても記入してください。

5. 本プログラムの発展性及び継続性

本プログラムによる学内外の大学院教育全体への波及効果や支援期間終了後の継続性等の見通しについて、できるだけ具体的に記入してください。他大学等と共同実施、連携する場合は、支援期間終了後の連携の在り方等についても記入してください。

6. 学長を中心としたマネジメント体制と本プログラムに対する組織的支援

大学としてのマネジメント体制が本プログラムの構築・展開に果たす役割、本プログラムの実現のための組織的支援（学内予算措置、教育研究組織の改編、施設・スペースの整備、教員の措置等）について、できるだけ具体的に記入してください。

II. 学位プログラムの内容について

1. 授与する博士の学位の分野・名称

構想する学位プログラム修了者に授与する博士の学位の専攻分野・付記する名称について、記入してください。

2. 学位授与の方針

学内規則その他に定めることを想定し、本学位プログラムの学位授与方針を具体的に記入してください。

3. 課程を通じて修得すべき知識・能力

学内規則その他に定めることを想定し、本学位プログラムを通じて修得すべき知識・能力について具体的に記入してください。

4. 学位プログラムに関する専攻の現状

①関連専攻の入学定員等

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程の過去3年間の入学定員等について記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

研究科・専攻名	課程区分	年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	入学 者数 (人)	入学者のうち			学位 授与 者数	授与学位 分野・名称	
						外国 人	社会 人	自大学 の同一 分野 出身者			
		H22									
		H21									
		H20									
			H22								
			H21								
			H20								
			H22								
			H21								
			H20								
			H22								
			H21								
			H20								
		H22									
		H21									
		H20									
			H22								
			H21								
			H20								

※関連専攻が多く様式が足りない場合は、「別添に続きあり」とここに記載した上で残りを別添にて提出してください。

様式 1

②関連専攻の博士論文名等一覧

申請書に記した3つの分科（又は細目）に関わる専攻において平成22年度に博士学位を授与した学生の博士論文名、主（任）指導教員を記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

研究科・専攻名	番号	博士論文名	主（任）指導教員
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		

※関連専攻や論文数が多く様式が足りない場合は、「別添に続きあり」とここに記載した上で残りを別添にて提出してください。

③関連専攻修了の卓越した人物

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程を過去に修了した卓越した人物について、知りうる範囲で課程・修了年度等とともにできるだけ具体的に記入してください。他大学と共同実施する場合は、当該大学の該当する専攻についても記入してください。

④関連専攻の教員組織

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程の平成23年5月1日現在の教員組織について記入してください。他大学との共同実施の場合は、当該機関の該当する専攻についても記入してください。

研究科専攻名	課程区分	教授(名)		准教授(名)		講師(名)		助教(名)		合計(名)	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		—		—		—		—		—
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		—		—		—		—		—
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		—		—		—		—		—
	上記のうち外国人教員										
	専任教員のうち他大学等を経験したことのある者		—		—		—		—		—

※関連専攻や課程区分が多く様式が足りない場合は、「別添に続きあり」とここに記載した上で残りを別添にて提出してください。

5. 関連専攻における大学院教育の強みや特色、改革の取組

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の大学院教育について、いかなる強みや特色を有し、これまでどのような教育改革の取組を行ってきたか、その成果も含めできるだけ具体的に記入してください。

6. 現在の博士課程教育における課題

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の大学院教育において現在いかなる課題を抱えていると認識しているか、できるだけ具体的に記入してください

7. 学位プログラムの内容

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、

- ・ 専門分野の枠を超えたコースワークにおける共通、基礎、専門、専門関連科目等の履修の体系性、複数専攻制や分野を超えた研究室ローテーションなどの工夫
- ・ これらを通じて修得される知の基盤を包括的に評価する Qualifying Examination などの質保証
- ・ 学生が主体的に専門分野の枠にとらわれず独創的に行う研究の計画、活動、及びその研究指導における工夫
- ・ リーダーとなるに相応しい資質能力を保証する学位審査体制の工夫
- ・ グローバルに活躍するリーダーを養成する観点からの工夫
- ・ 産学官等が参画した実践性を備えた研究訓練等の工夫

などをはじめとする取組が、一貫した学位プログラムの中で有機的に実施されていることが明らかとなるよう、その内容を具体的に記入してください。共同実施機関及び連携先機関がある場合は、その連携内容や役割分担を記入してください。また、本事業支援期間を通じて本学位プログラムによる学位授与者数（年当たり）の目標についても併せて記入してください。

8. 申請類型に応じたプログラムの特色

申請類型の分類の趣旨や申請要件等に照らした本プログラムの適合性や特色について、具体的に記入してください。

Ⅲ. 教育・研究指導体制について**1. 教育・研究指導体制**

「Ⅱ. 学位プログラムの内容について」に示した事項を実現し、リーダーとなるに相応しい資質能力の修得を保證する教育・研究指導体制について、

- ・ コースワークや複数専攻制、研究室ローテーションなど専門分野の枠を超えた体系的指導体制
- ・ メンターやTAなどを活用した組織的履修支援体制
- ・ 専門分野の枠を超え国内外の多様なセクターから第一級の教員を結集した密接な研究指導体制
- ・ リーダーとなるに相応しい資質能力を保證する学位審査体制

などの体制を、連携先機関との関係を含め、いかなる教員の構成・確保・配置によって実現しようとしているか、具体的に記入してください。共同実施機関がある場合には、双方の役割分担について具体的に記入してください。

2. 企画・運営・連携体制

複数の分野や連携先機関も含め、本プログラムを担当する教員の参画と共通理解によって組織的に教育研究を展開、評価、改善強化していくための企画・運営・連携体制について、具体的に記入してください。共同実施機関がある場合には、双方の役割分担について具体的に記入してください。

IV. 学生獲得と学修研究環境について

1. 入学者受入方針

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程の現在の入学者受入方針、及び、本学位プログラム構築に伴う入学者受入方針の創設・改訂の有無について記入してください。

2. 経済的支援の状況

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程において、平成 22 年度に給付型の経済的支援を受けた者の状況を記入してください。「在籍学生数」及び「経済的支援を受ける者」欄には実数を、各項目別の人数は延べ数を記入してください。

研究科・専攻名	課程区分		在籍学生数	経済的支援を受ける者	TAとして採用されている者	RAとして採用されている者	フェロ－シップ・奨学金	うち	その他	授業料免除適用者数
								日本学術振興会特別研究員採用者		
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								
		合計								
		うち、外国人								

※関連専攻が多く様式が足りない場合は、「別添に続きあり」とここに記載した上で残りを別添にて提出してください。

3. 優秀な学生の獲得方策

多様な背景を持つ国内外の優秀な学生を獲得するためのリクルーティングや入学者選抜等の工夫について、具体的に記入してください。学位プログラム所属学生を入学後に選抜する場合は、当該選抜においていかなる工夫を講じているのかも記入してください。また、優秀な外国人や社会人の受入のための工夫について記入してください。本事業支援期間を通じて、本学位プログラム選抜学生数、及び外国人、社会人、自大学の同一分野出身以外の者の入学者の割合をどの程度に設定しているかも併せて記入してください。

4. 優秀な学生にとって魅力ある学修研究環境

国内外の優秀な学生同士が切磋琢磨し刺激し合う環境、メンターなどによる履修支援、学生が主体的に専門分野の枠にとらわれず独創的に行う研究を計画・実践する環境など、国内外の優秀な学生にとって魅力的な学修研究環境の構築について、具体的に記入してください。

5. 優秀な学生が学修研究に専念できる経済的支援

国内外の優秀な学生が学修研究に専念できる経済的支援について記入してください。

V. 広く産学官にわたってグローバルに活躍するリーダー養成の取組について

1. 進路状況

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻における平成 22 年度修了者の進路状況（平成 23 年 5 月 1 日現在、合計値）について記入してください。共同実施機関がある場合には、それぞれについて記入してください。

区 分	博士課程修了者（満期退学者を除く）		博士課程満期退学者	
	合計	うち、外国人	合計	うち、外国人
※共同申請の場合は、ここに大学名を記載				
修了者数／満期退学者数				
① 進学者数				
② 就職者数				
②の内訳	大学の教員（助教・講師等）			
	公的な研究機関			
	その他公的機関			
	企業（研究開発部門）			
	企業（その他の職種）			
	ポスドク（同一大学）			
	ポスドク（他大学等）			
	学校の教員（大学を除く）			
その他				
③ 専修学校・外国の学校等入学者				
④ 一時的な仕事に就いた者				
⑤ ①～④及び⑥以外				
⑥ 死亡・不詳				

※共同申請を行う場合には、本頁を機関毎に作成してください。

「② 就職者数」欄に記載の主な就職先

「④ 一時的な仕事に就いた者」欄に記載の主な就職先

「⑤ ①～④及び⑥以外」欄に記載の具体的な内訳

2. 産学官等の連携状況

本学位プログラムの企画に当たって、申請段階における産学官等の参画状況について、具体的に記入してください。

3. 実践性を備えた研究訓練等

共同研究プロジェクトへの参加やPBL、一定期間のインターンシップなど実践性を備えた研究訓練等の実施について、予定する年次や段階、実施機関や期間なども含めてできるだけ具体的に記入してください。

4. 国際性を備えた研究訓練等

グローバルに活躍するリーダーへと導くため、海外の大学等機関との共同研究、インターンシップ、学生・教員交流など、国際的ネットワークによる研究訓練等の実施について、予定する年次や段階、実施機関や期間なども含めてできるだけ具体的に記入してください。

5. キャリアパスの確立に向けた取組

国内外の優秀な学生の将来の見通しが得られるよう、キャリアパスの確立に向けた取組について、具体的に記入してください。また、本事業支援期間を通じて想定する進路に係る就職率又は就職者の目標をどのように設定し、その実現に向けたフォローアップをどのように行うかについても併せて記入してください。

VI. 学位の質を保証するための取組について**1. 関連専攻における課程修了要件**

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻の各課程における現行の修了要件について記入してください。

2. 学位の質を保証するための取組

課程を通じて一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開するため、課程の修了要件の設定、特に、リーダーとなるに相応しい資質能力を保証する開かれた博士学位審査体制、Qualifying Examination などによる基礎的能力の包括的な評価やリサーチプロポーザルの審査などの質保証の仕組みについて、具体的に記入してください。また、前期課程修了後就職する者に対する修士号授与要件の取扱いについても併せて記入してください。

VII. 卓越した教育研究実績・資源について

1. 教育活動の実績

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻又は本学位プログラムを担当する教員が世界を牽引するリーダーの養成に必要な教育力を有していることについて、適宜データ等を活用しながら、特筆すべき実績をまとめ、特徴がわかるように記入してください。

2. 研究活動の実績

本学位プログラムの対象分野に関わる専攻又は本学位プログラムを担当する教員が高い研究力を有していることについて、適宜データ等を活用しながら、特筆すべき実績をまとめ、特徴がわかるように記入してください。

VII. プログラムの評価体制について

1. プログラムの成果目標

優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導く学位プログラムの構築・展開の成果目標や適切な評価指標について、事業支援期間中及びさらに長期的な見通しを具体的に記入してください。

2. プログラムの評価体制

成果目標や評価指標の達成状況など事業の進捗状況をできる限り国際的な見地から外部評価する仕組みについて、事業支援期間中及び支援期間終了後の体制を具体的に記入してください。

Ⅷ. 事業実施計画について

支援期間中の年度ごとの事業実施計画について、学生の募集時期、受入れ時期、組織や施設の整備時期を含めて具体的に記入してください。(最大2頁まで可)

平成23年度 :

平成24年度 :

平成25年度 :

平成26年度 :

平成27年度 :

平成28年度 :

平成29年度 :

X. グローバルCOEプログラムからの発展・区別化

〈グローバルCOEプログラムを継続実施中の場合のみ記載。それ以外の場合は記載不要。〉

複数のプログラム担当者がグローバルCOEプログラムに参画する構想については、当該グローバルCOEプログラムで期待されている成果が十分得られているかを評価した上で、本学位プログラムが当該成果をどのように生かしているか、また、いかに発展させているかを具体的に記入してください。その際、平成 23 年度のグローバルCOEプログラムの補助対象経費区分別内訳表を添付した上で、両経費の重複が無いことを説明してください。

XI. その他

プログラムの特色等を示すために、その他効果的と思われる特記事項等がある場合は記入してください。

様式 2

通し 番号	(ふりがな) 氏 名	所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現 在 の 専 門
2	(プログラムコーディネーター)			
学歴				
職歴				
学会・社会 活動				
主な発表 論文	既に発表した代表的な論文 2 件（印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則 5 年以内に）発表したもの）について、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後の頁・発表年（西暦）を記入			
エフオー ト予定	新たな学位の授与対象となる学生の受入れを開始する年度における、本事業に割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ %			

通し 番号	(ふりがな) 氏 名	所属(研究科・専攻等)・職名	学 位	現 在 の 専 門
3				
学歴				
職歴				
学会・社会 活動				
主な発表 論文	既に発表した代表的な論文 2 件（印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く、最近（原則 5 年以内に）発表したもの）について、論文名・著書名・著者名・学会誌名・巻（号）・最初と最後の頁・発表年（西暦）を記入			
エフオー ト予定	新たな学位の授与対象となる学生の受入れを開始する年度における、本事業に割り当てる時間・労力の割合（エフォート）の予定を記入 ○○ %			

博士課程教育リーディングプログラム 教育研究活動調書

(注意事項)

★印を付した項目については、プログラムの対象分野に関わる専攻に係るデータを集計の上、記入してください。
 (共同実施機関がある場合には、当該項目は別葉でそれぞれ作成してください。)

※印を付した項目については、プログラム担当者全員分に係るデータを集計の上、記入してください。

1. 学生の研究活動の状況

★(1) 博士課程学生の学会発表、学術雑誌等への論文等発表数

注1: 平成22年度(22年4月～23年3月の期間)について作成してください。

注2: 学会発表数の()内にはうち国外で行われたものを記入してください。

注3: 論文発表数は、学生がレフェリー付学術雑誌に発表したもの(印刷済及び採録決定済のものに限り査読中・投稿中のものは除く。)に発表した論文数を記入してください。また、論文発表数の()内には、うち英文で作成した論文数を記入してください。

区分	学会発表数	在籍者に対する割合	レフェリー付論文発表数	在籍者に対する割合
前期	回 (回)	% (%)	件 (件)	% (%)
後期・一貫制・4年制	回 (回)	% (%)	件 (件)	% (%)

主な発表論文

(平成20～22年度(20年4月～23年3月の期間)における、専攻に所属する学生の主な発表論文(論文名、著者名、学会誌名、巻(号)、最初と最後の頁、発表年(西暦)の各項目を必ず記入)を記入してください。共同、共著の場合は全員を掲載順に記入し、当該学生に下線を付してください。ただし、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除きます。)

★(2) 研究費の獲得状況及び学会賞等各賞の受賞状況等

(平成20～22年度(20年4月～23年3月の期間)における、専攻に所属する学生が獲得した主な研究費(名称、期間、金額等)の獲得状況及び学会賞等(受賞名、受賞年等)の受賞状況について記入してください。また、当該専攻に所属する学生が在籍中に取得した特許や記載された新聞記事など、大学で特筆すべき研究成果と判断されるものがあれば、本欄に記入することが可能です。)

(機関名: 申請類型: プログラム名称:)

様式 4

2. 研究活動面の状況			
※(1)レフェリー付学術雑誌等への研究論文発表状況又は専門書等の発行状況 注:平成20～22年度(20年4月～23年3月の期間)に発行された主な研究論文等を発表した主な学術雑誌、専門書等名ついて記入してください。			
区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
(レフェリー付き学術雑誌・専門書等名)			
※(2)学会賞等各賞の受賞状況等 注:平成20～22年度(20年4月～23年3月の期間)について作成してください。			
区分	代表的な受賞名及び主な外国の科学アカデミー名		
国際的な大賞			
国際的学術賞			
日本学士院賞			
国内学会賞			
財団等賞			
その他の表彰 (公的褒章含む)			
外国の科学アカデミー会員状況			

(機関名: 申請類型: プログラム名称:)

※(3)国際学会での発表(基調講演・招待講演等)の状況

注:平成20~22年度(20年4月~23年3月の期間)に開催された国際学会での発表状況について作成してください。

代表的な国際学会名及び開催年月日(記入は10件以内とし、基調講演・招待講演等の特記してください。)

Blank area for reporting international conferences, with horizontal dashed lines for text entry.

★(4)他大学等との共同研究の実施状況

注1:右側の()は内数で国外の機関との共同研究の実施件数を示す。

注2:平成20~22年度(20年4月~23年3月の期間)について作成してください。

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大学・研究機関	件(件)	件(件)	件(件)
企業等	件(件)	件(件)	件(件)

(機関名: 申請類型: プログラム名称:)

